

**■訃報 加藤允彦さん**

文化庁文化財部記念物課主任文化財調査官の加藤允彦さんが、2003年11月22日に逝去されました。加藤さんは京都府教育庁文化財保護課を経て、1977年に奈良国立文化財研究所（当時）に入所、平城宮跡発掘調査部で発掘調査に携われ、その後、1983年～94年まで文化庁文化財保護部記念物課（当時）で文化財調査官等を務められ、94年奈文研へ復帰後、埋蔵文化財センター保存工学研究室長として、研修事業はもとより全国の遺跡整備の調査・指導に尽力されました。2000年に再び文化庁で、主任文化財調査官として名勝関連行政の中核を担われました。なかでも、日本庭園の伝統的保護管理技術の伝承に関する取組みは特筆されるものでした。行政担当者としても優れた手腕を発揮された加藤さんのご逝去は、文化財行政において名勝の概念や範疇の見直しが図られている昨今、大きな損失として惜しみて余りあるものです。名勝や遺跡整備に関わる者といたしましては、加藤さんの研究や行政的取組みの業績をもとに、その発展にいくばくかでも寄与することで加藤さんのご遺志を受け継ぎたいと考えているところです。心よりご冥福をお祈りいたします。

（埋蔵文化財センター 小野健吉）